

日時 令和5年6月30日(金) 15時00分～
 場所 久留米市本庁舎20階 第3委員会室
 出席委員 原口 新五 (久留米市長)
 井上 謙介 (教育長) 喜多村 浩司 (教育委員)
 江頭 理江 (教育委員) 中野 浩美 (教育委員)
 内村 直尚 (教育委員) 御厨 千秋 (教育委員)
 事務局 重石 悟 (教育部長) 松野 誠彦 (総合政策部長)
 竹村 政高 (市民文化部長) 平田 敬一 (教育部次長)
 四ヶ所 清隆 (教育監) 深堀 尚子 (総合政策課長)
 古賀 裕二 (市民文化部次長)
 稲益 久之 (市民文化部高校総体担当次長(兼)体育スポーツ課長)
 古閑 昭寛 (学校規模担当課長) 川上 喜美子 (学校施設課長)
 田中 浩之 (学校教育課長) 新谷 祥生 (学校教育課指導主幹)
 箔谷 恵 (総合政策課政策調整官) 原 稔治 (青少年育成課長)

1 開会

事務局 ただいまより、令和5年度 第1回 久留米市総合教育会議 を開会いたします。それでは、開会にあたりまして、原口市長にご挨拶をお願いします。

2 あいさつ

市長 令和5年度第1回目の総合教育会議を開催するにあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

本日は、「不登校児童生徒への支援の取組みについて」、そして「部活動地域移行について」、以上2つのテーマを議題としております。

まず、1点目につきましては、「不登校支援」についてです。

近年の不登校児童生徒数は、全国的にも、本市においても急激な増加となっております。そこで、本年度実施いたします不登校支援の取組について、ご説明いたします。

2点目につきましては、「部活動の地域移行」でございます。

昨年度、国からのガイドラインが示されるなど、部活動を取り巻く環境は大きく変わってきており、本市での今後の取組状況などについて、ご説明いたします。

また、「学校における流域治水の取組状況」につきまして、工事の状況などをご紹介いたします。

以上のテーマについて、教育委員の皆さまと積極的な意見交換をさせていただきたいと考えております。

限られた時間ではございますが、どうぞよろしく願いいたします。

3 議題

(1) 不登校児童生徒への支援の取組みについて

事務局 それでは、議題の1点目「不登校児童生徒への支援の取組みについて」でございます。事務局から説明させていただきます。

(事務局説明)

- 事務局 事務局からの説明が終わりました。
ご質問、ご意見やご感想があれば、お願いします。
- A委員 発達障害等のあるお子さんは不登校になりやすいので、久留米大学の小児科の先生など専門の医師を入れていただくと根本的な対応が可能ではないかと思います。
- B委員 これまでの不登校に関する説明の中で、同じような比率で不登校が増えるというよりも、小学校4年生から5年生、中学校1年生から2年生などの段階において不登校が増えるという話もあったかと思います。これはおそらく学習内容が難化するといったことによってそのような数値が出ていたのではないかと思いますので、問題要因が発生しやすいところをより具体的に考えていただくことで、何かしらの手立てが見えるのではないかと思います。
- C委員 不登校・家出の子達の行く先も広域化しており、性犯罪や薬物等に関わると保護者だけでは対応できない問題になるので、その点も視野に入れて活動をお願いしたいと思います。
- D委員 方針を策定するうえで、様々な立場の方々のご意見を多様な角度から取り入れていくことが大事だと考えますので、きめ細やかな対応で不登校の児童が久留米でさらに減るように、継続してリライトしていくといった形で進めていただければと思います。
- E委員 不登校が年々増加している原因は何だとお考えですか。
- 事務局 全国的に10年連続、久留米でも5年連続で不登校児童数が増えてきている現状です。特にここ2年は増加率が伸びてきています。国のほうでもコロナ禍における環境の変化も要因ではないかと言われてはいますが、今回不登校児童からも具体的な聞き取りをさせていただいて要因や背景を分析したいと考えています。
- E委員 コロナはもちろん様々な原因が重なったことだと思いますが、根本的な原因が分からなければ対策は打てないと思います。社会が複雑化している中で、誰も本当のことが分からないことだとは思いますが、原因を考えていかなければ良い方向に向かわないと思いますので、よろしくお願いします。
- 市長 把握しているデータについて、教えてください。
- 事務局 国の報告によると、令和3年度の数値になりますが、小学校については、「無気力・不安感・親子の関わり方・生活リズムの乱れ・遊び・非行」が上位の要因であり、中学校については「無気力・不安感・生活リズムの乱れ・遊び・非行」に加え、「友人関係の巡る問題」がございます。令和4年度については、精査中ではありますが、その背景に何があるか、一方で教職員に対しても、不登校対応でどのような困りごとがあるか、そもそも不登校を生じさせない学級経営について、外部委員さんの意見も踏まえながら、方針を作っていきたいと考えております。

E委員 先生達の働き方改革にもつながることとは思いますが、業務を簡素化して先生達の負担を減らし、子どもと向き合える時間を増やすことで、互いに余裕をもって接することが不登校を減らすことになるのではないのでしょうか。

事務局 貴重なご意見ありがとうございました。各委員さんからご意見ありましたが、まさに待ったなしの課題でありますので、今年度各支援を教育委員会として取り組み、様々な立場の方から意見をいただく中で、子ども達の視点に立った支援の在り方を今後も検討していきたいと思っております。

(2) 部活動地域移行について

事務局 それでは、続きまして議題の2点目「部活動地域移行について」でございます。事務局から説明させていただきます。

(事務局説明)

事務局 事務局からの説明が終わりました。
ご質問、ご意見やご感想があれば、お願いします。

B委員 地域移行が進んでいる地域に勤務している方から話を聞くと、指導についてはサポートになってはいますが、土日の試合においては結局引率をしなくてはならず、負担が解消されないと耳にしますが、その点については、どのようにお考えでしょうか。

事務局 土日の試合については、中学校の部活動において、今後も組まれていくと考えられますので、可能な限り部活動指導員の配置を進めていながら、段階的にも教員の負担を軽減していきたいと考えております。

E委員 土日に部活動をしないことは難しいのですか。

事務局 経験上ではありますが、部活動に携わることは学級担任や生徒指導を行うこと以外のメリットがあると感じています。土日を休みたいという教員もいますが、子どもたちのために頑張りたいという教員もいます。そのような観点からもできることから負担軽減を図っていききたいと考えています。

E委員 部活動は必ずしも土日にやる必要があるのですか。

事務局 平日の部活動は限られた時間で行っており、学校現場としても、まとまった指導の時間や練習試合を組むことができる土日のどちらかで活動を行いたいという意向があることは認識しています。

E委員 学校現場の希望だという認識でよろしいですか。

事務局 すべての教員ではありませんが、部活が好きな教員やスポーツが好きな子どもに伝えていきたいという希望をもっている教員もいます。

C委員 平日働いている保護者も多い中、土日の部活動に同行したいという保護者の意向もあると思います。

- E委員 土日の片方だけでも完全な休日にするという考え方はないのですか。
- 事務局 久留米市が出しています「部活動方針」というガイドラインの中では、「週当たり二日以上以上の休養日を設け、土日どちらか一日を休養日とする」としてあります。
- E委員 江頭委員は直接現場の声をお聞きする機会が多いかと思いますが、つらいという意見は多いですか。
- B委員 つらいという声もありますし、土日の試合におけるサポートの方との軋轢といった声も聞きます。また、部活指導の後にしか指導研究等ができないといった観点から、小学校の教員の方が楽だという声もあります。
- 事務局 これから取り組む話ではありますが、部活動を取り巻く環境自体が変化していますので、国や県の動向も踏まえながら、久留米に合った部活動の地域移行を進めていきたいと考えております。
- E委員 先生が足りていない中で、徐々に移行しようとしても、なかなか進まないのではないのでしょうか。
- 事務局 部活動はもともと自主的な活動ということもあって、一律な移行は難しい部分もあるかと思しますので、お汲み取りいただければと思います。
- 市長 先生や生徒も熱量が一人一人違うと思いますし、地域スポーツをされている方はアスリートを目指すような方々が多い一方で、学校の部活は特に差があると感じます。自治体と相互型と民間と選択ができるようになると良いのではないかと思います。
- E委員 様々な生徒・先生・保護者が色んな選択肢を選べるのが大切だと思います。
- 4 その他 学校における流域治水の取組状況について
- 事務局 それでは、学校における流域治水の取組状況につきまして、ご報告させていただきます。事務局から説明させていただきます。
- (事務局より説明)
- 事務局 事務局からの説明は終わりました。
ご意見や・ご質問等ございましたらお願いします。
- 市長 雨水貯水タンクは 200 L と 1,000 L があり、小中学校や総合支所はもちろん民間企業にも設置していただいて久留米市全域で取り組みたいと考えています。補助事業の内容等分かればご説明ください。
- 事務局 民間が設置する補助事業の要綱について、今資料等はございませんが、学校につけている一つの理由として保護者や学校に見えられる方への啓発の意味合いもございますので、各家庭等できるだけ多くの市民の方々に普及できればと思っております。

- 事務局 資料はまた後ほどお届けしたいと思います。
- D委員 我々企業としても、商工会議所等で伝えて、市民の安心安全を守るという面でも情報をいただいておりますので、よろしくお願いいたします。
- 市長 久留米大学ではいよいよ9月に貯留場の落成式がございます。貯水タンクについても久留米市で推進していますので、興味のある方がいらっしゃいましたら、資料をお持ちして説明させていただきます。
- D委員 少しずつ皆さんで協力すれば地域貢献にもなり、とても良いことだと思います。
- 事務局 それでは予定していた事項は終わりました。
市長から何かございますでしょうか。
- 市長 本日は大雨の影響もありゆっくりとした議論ができませんでした。
今後も教育現場や施設等、様々な意見を出していただき、しっかり議論をさせていただき改善していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。
- 事務局 (閉会宣告)